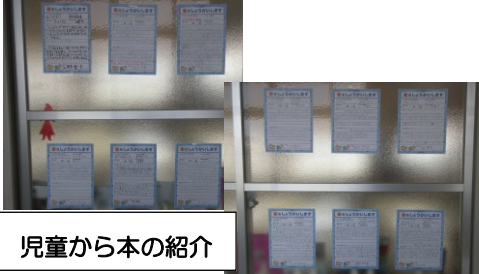


# よむよむ

加古川市立志方東小学校  
令和8年3月18日 最終号  
教頭

## 人生を豊かにする3つの出会い～〇・旅・人～



児童から本の紹介

皆さんは「人生を豊かにする3つの出会い」をご存じでしょうか。それは「本・旅・人」と言われています。「本」は、今までもお話してきましたが、知識を深め、人生のヒントを見つけることができます。「旅」は、未知との体験で視野を広げることができます。「人」は、対話を通じて新しい発見があり、人生の転機にもなります。これらは、どれも自分を成長させてくれます。春は別れと出会いの季節です。すてきな出会いがあることを願い、進級前に、本を一冊手にとってみるのはいかがでしょうか。

### 1～3年のおすすめ

### ひがしっ子のおすすめ本

アンケートから

本の名前	おすすめりゆう
パンどろぼう	絵がかわいい おもしろい
大ピンチずかん	いろんな大ピンチがある おもしろい
おしりたんてい	じけんかいけつするのが おもしろい
ノラネコぐんだん	ぼうけんがあっておもしろい わかりやすい



児童の読み聞かせ

### 4～6年のおすすめ

「〇〇のひみつ」シリーズ	マンガ形式でわかりやすい たくさんの種類がある
ラストで君はまさかという	結末が衝撃的なのがおもしろい
ルルとラウの手作りスイーツ	家族といっしょに読んでつくったスイーツを食べてもらいたい
文章がうまくなる	学校で教えてくれない大切なことを教えてくれる

前回から引き続き、6年生がひがしっ子の「ブック・ウーマン」になって、本の価値について考えたことを紹介します。

### 読書の深さ

僕は、「ぼくのブックウーマン」を読んで、改めて読書をする大切さを理解しました。

小学校に入るまでは、本の読み聞かせや、自分で読むことが好きでした。低学年になると、少し難しい理科や歴史の本が好きになり、一週間の間に三冊ほど、学校や家などで読んでいました。ですが、高学年になるに連れ図書館の時間がなくなり、少しずつ本を読む時間も本を借りてきたとしても読む気にはなりません。読む気にならなかったという面では、カルとすこし似ているのかもしれませんが。

けれど、これから中学校での国語や社会の授業でわからないことばかりになってしまうかもしれないという不安からも、「読書をしたほうがいいのか」と思いつつも本を読む時間がないことを強く再認識しています。

そして、スマートフォンやパソコンなどのほうが、時間をあまりかけずに、素早く情報を取り入れることができるし、SNSなどの誘惑に負けてしまう人も少なくはないと思います。

このように、読書はただの本を読む行為ではなく、カルのように深い集中や強い忍耐力を必要とします。ですが、それさえ乗り越えれば、読書は、あなたにとって必ず想像力や心を深く、広くしてくれる、心強い味方となるはず。まずは、自分のお気に入りの本でも見つけてみることから始めてはどうでしょうか。

今年度の「よむよむ」は最終回となります。これからも心動かされる本に出会ったら、お互いに紹介できるといいですね。今まで、ありがとうございました。